

編集後記

現在の第9代編集委員会が活動を開始したのは2009年6月ですので、この5月をもって丸4年になり、その任期を終えます。この4年を振り返りますと、臨床神経学には大きな出来事がいくつかありました。

画期的な事柄は、2010年4月15日からの電子投稿・査読システム ScholarOne の導入です。導入に当たっては本誌用に大幅なカスタマイズを行いました。その眼目は、完全独立査読システムの採用です。編集委員会委員であっても、全員の査読結果が出揃うまでは他の査読者の査読内容がわからないようにすることで査読の質の向上を目指しました。もう一つは、編集委員会決定を著者全員に e-mail 返信するようにしたことです。「指導者によく直して貰うように」とのコメントも当人に直に返されますので、目配りが行き届くと思います。システム導入の準備を入念に行った結果、また、編集事務局の努力も与って順調に機能しております。

表紙の刷新も言及すべき事柄でしょう。臨床神経学創刊から50年が経過したのを機に51巻から表紙を新しくすることになりました。デザイナーの案を元に編集委員会で討議し、現在のモダンなデザインを選び、群青、茶、緑の順

に巻毎に色を変えることになりました。背表紙の字も読みやすいフォントと見やすい色にしましたので、冊子の同定が容易になったと思われます。

ただ、折角新しい表紙になったのですが、2015年からは無料配信は電子媒体でのみとなることが決まりました。既に電子目次がメール配信され、学会HP上の臨床神経学へのアクセス数はうなぎ上りです。電子媒体の利便性、特にその優れた searchability を考えますと、電子配信は時代の趨勢と申せましょう。

その他の出来事として印刷会社の変更が挙げられます。発刊費用抑制のため、複数社から見積もりを取り寄せ、費用・質・信頼性を総合的に判断して中西印刷に移しました。印刷費用は、半分近くになる見込みであり、刊行も順調に行われております。

この4年間、学術大会号を除けば、遅れることなく、とくにここ数ヶ月は各月上旬に発刊することができました。これは偏に編集委員の尽力、査読者の協力、編集事務局および投稿者の努力に負うところであり、ここに深い謝意を表します。

(中野今治)

〈編集委員〉

編集委員長 中野 今治 編集副委員長 阿部 康二 鈴木 則宏
 編集委員 神田 隆 木村 和美 桑原 聡 瀧山 嘉久 野村 恭一 森 悦朗
 編集委員(幹事兼任) 清水 潤 森 秀生 吉井 文均

「臨床神経学」 第53巻 第5号 平成25年5月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 水 澤 英 洋
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>